

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

キッズボンド地蔵

調査期間：令和7年1月4日～令和7年1月31日 回答職員数：(9名中 9名)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9		広範囲を使うボール遊びの約束事を強化したり、静の遊び場所の配置を工夫したりしている。限られたスペースで個々が安全に活動できるよう、心がけている。
	2	職員の配置数は適切であるか	9		最低人数は満たしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1	環境は視覚化し、分かりやすくしている。支援室からトイレまではバリアフリーになって車いすでも利用ができる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9		毎日清掃し、心地よく過ごせる環境にしている。毎日の清掃に加え、子どもが口に入れないよう、ごみはすぐに拾っている。活動にあわせた空間となっている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9		毎日ミーティングで職員から意見を聞いたり職員会で積極的に発言できる環境作りをしたりしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9		アンケート調査を実施し、業務改善につなげたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9		HPに公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	8	業務改善につなげていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9		社員研修、委員会研修、アセスメント講習等、定期的に行い、研修議事録を回覧し徹底している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9		保護者に直接話を聞き、保護者のニーズや子どもの課題を分析し支援計画書を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9		キッズボンドグループで標準テンプレートがあり、それを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9		ガイドラインを参考に具体的な支援内容で計画書を作成している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9		支援目標、支援内容、支援計画に沿った支援を意識し、支援を共有するよう徹底している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9		原案を担当者が決め、職員のディスカッションで決定している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9		以前行なった活動内容を見直し、子どもの反応を参考にし、職員で意見を出し合い、活動内容やルール等に変化を持たせている。個々の児童に合わせた活動を実施している。

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	9		支援計画に基づき、個別活動・集団活動を組み合わせた支援計画を作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9		受け入れ前ミーティングの参加に職員のばらつきがある為、毎日の議事録を通して、支援内容や役割の確認をしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9		その日の子どもの様子や気づいた事、保護者からの連絡等、職員間で報告しあい、共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		個人記録の書類に記載された支援目標、支援内容に沿った内容を記録し、共有するよう、徹底している。今後も見直し、検証を行っていききたい。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9		原則、半年に1度モニタリングを行っている。必要であれば、前倒しで実施している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9		必要に応じて、担当者会議に児童の状態把握の出来ている職員が参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9		役場の担当者と連携し情報を共有している。必要に応じて関係機関との連携を取っていききたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9		医療ケアを必要とする子どもは現在のところいないが、今後利用した場合、関係機関と連携していききたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	9		医療ケアを必要とする子どもは現在のところいないが、今後利用した場合、主治医や医療機関等と連携していききたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9		利用時が通園しているこども園と連携を取っている。今後も他機関と連絡を密にし、連携を図っていききたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9		小学校や特別支援学校との連携はとっている。今後も小学校等と密に連絡を取り、情報共有を図っていききたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2	専門機関との電話等の連携はあるが、今後も増やしていききたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	8	外出先で他児と同じ空間で過ごす事はあるが、一緒に活動は出来ていないので、今後取り組みたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	2	自立支援協議会に参加して、地域の情報を共有している。今後も続けたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9		日々の送迎時に保護者との会話や定期的に保護者との面談を通じて、共通理解を図っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	1	定期的に保護者との面談を行ったり、日々の連絡を通じて共通理解を持ったりしている。
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9		契約時の重要事項説明書で丁寧に説明をしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9		半年毎に支援計画の見直しを行い、保護者にモニタリングを行い支援計画の説明をし、同意を得ている。

	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9		保護者からの悩みに即日対応を心がけ、個別に連絡を取り電話や訪問等で支援を行っている。定期的にお迎え時にお話を聞くなどし、個別に連絡をとっている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		9	父母の会や保護者会の開催は必要と思うが実施されていない。計画して行っていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9		保護者からの相談に即日対応を心がけ、個別に連絡を取り電話や訪問等で支援を行っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9		毎月、キッズbond通信の発行、活動予定表を配布し周知している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9		書類は鍵付書庫で厳重に保管、HP上の写真には保護者の同意を得た上で、モザイクをかけている。個人情報は子どもの目に触れないように今後も配慮していく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9		ジェスチャーやメモを使用している。曖昧な表現を使わず、会話以外に視覚化して情報伝達し、意思の疎通を図っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	8	地域住民が参加できるイベントは実施していない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9		掲示・書類にして周知している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9		毎月地震や火災の想定で避難訓練を実施し、消防署員の来所で職員の救急講習を実施している。また、3月には総合訓練（通報訓練を含む）で子ども向けの火災時の対応の学習を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9		医師の診断書に基づき、保護者より詳しく説明を受け、対応している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9		医師の指示に基づき、保護者より詳しく説明を受け対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9		日々の生活の中でヒヤリハットと思われる事案を出し合い対応策を考え、職員会議に於いて共有している。直接の事故につながらないよう努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9		虐待防止委員会を年4回実施し、虐待についての研修を行い、職員会でテーマとして取り上げ、周知徹底している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9		契約時の重要事項説明書で説明をし、やむを得ず身体拘束を行う事があることを保護者に了解を得ており運営規定に記載している。年4回、身体拘束委員会を開催し、身体拘束についての研修を受けている。